

いしかわの森で作る住宅推進事業者(市町別・50音順)

【 珠 洲 市 】	盤戸建築／船本工務店
【 輪 島 市 】	表建築／川昭工務店／工務紙井／田浦工務店／ TAKANO ／中谷工務店／西中工務店／宮下工務店／山下住宅
【 能 登 町 】	石井産業／道下工務店
【 穴 水 町 】	能登住建
【 七 尾 市 】	秋山／アントール／コヤマ設計／中島木材工業／浜建設／播摩建設／吉見建設
【 中 能 登 町 】	鹿島産業／若狭建設
【 志 賀 町 】	岡本建築／中野／畑山興建／山口木材／横谷建設
【 宝 達 志 水 町 】	中野工務店
【 羽 咋 市 】	大窪工務店／小倉建設
【 か ほ く 市 】	沢野建設工房／山越建設
【 津 幡 町 】	坂本木材建設
【 金 沢 市 】	アーキジョン／飛鳥住宅／家元／石川雪国科学／石森木工／乾工務店／ウッドスタイルクオリティー 川元建設／舘田創建／神田木材／キップス／木建／健工舎イガワ／建築工房坂本／宏州建設／さくら シー・プランニング／ SWAYDESIGN ／ J A建設エナジー／嶋田工建／住工房／ジョイント 21 ／城東建設 昭和住宅／新協建設工業石川支店／セイダイ／相互建設／タイセツホーム／大門システムズ／高山木材建設 玉家建設／田村／中部ジェイ・シィ／都和工房／中村住宅開発／西村総建／ハヤシ創建／東建設 ひまわりほーむ／ほそ川建設／前田技建／マグアーキテクトオフィス／三田住工房／みつほ工業 メーブルホーム／盛建築／米工務店／ラクラス／リビングパートナー／加藤松商店／夢工場
【 白 山 市 】	永大ホーム／角永商店／北村建設／木村製材／建匠舎／ココ地建／済田工務店／千代野建設／西内工務店 白山大藪建設／フジタ／藤田建設／ホームアシストさとう／森建ハウザー／山下工務店
【 野 々 市 市 】	和泉／永井工務店／やまざき建宅
【 能 美 市 】	片村建築／ KUMU 工務店／大同建設／辰建／中東／ナカムラ／北陸リビング社／松浦建設
【 小 松 市 】	アイアール不動産ホーム／アサイ建築事務所／油本建築 ABUKEN ／アルクモリ／イング／オートシ建築 オオミ住装／梶谷建設／北製材所／北出建築工房 plus ／駒沢建工／櫻井建設／ダイイチ／タカノ工務店 竹中建設／道場建設／宮田建設／吉光組
【 加 賀 市 】	岡田工務店／北出木材工業／小中出建設／シモアラ／七尾建設／三和建設／藪内工務店
【富山県小矢部市】	アキ／棚田建設

(令和3年2月現在)

石川県農林水産部 森林管理課

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地  
TEL076-225-1643 FAX076-225-1645

一般社団法人 石川県木造住宅協会

〒920-0364 石川県金沢市松島2丁目109番地  
TEL076-240-4081 FAX076-240-4051



「いしかわの木」を  
つかう、植える、育てていく。  
これからのエコな家づくり。

地域で育った木で家をつくることは、  
環境にやさしいだけでなく、  
地域の森林を育て、  
守っていくことにもつながります。  
良質な「いしかわの木」を使って、  
快適な住まいを作ってみませんか。





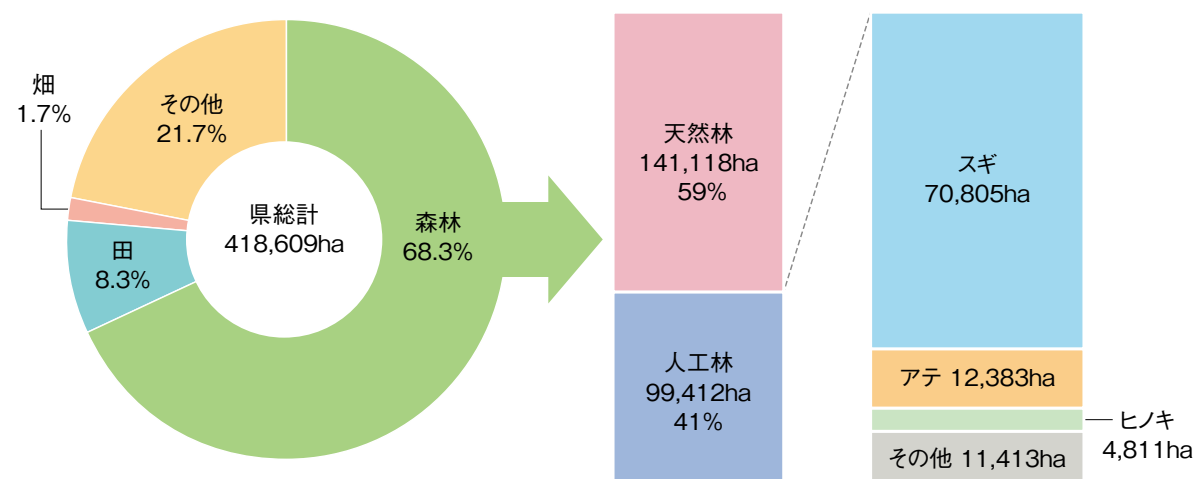
## Ⅰ「いしかわの木」地産地消のすすめ

### ① はじめに

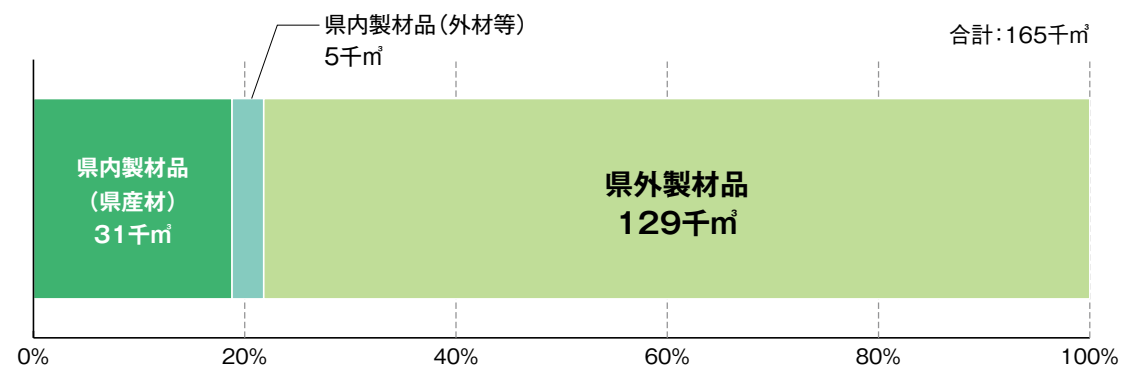
県内では、毎年5000棟程度の木造住宅が建てられているのですが、地元の木材が地元の住宅に多く使用されているという訳ではありません。現状はその逆で、8割以上は外国からの輸入材や他県からの木材が使用されています。

県土面積の約7割が森林に覆われている本県で、なぜ、「いしかわの木」があまり使われていないのでしょうか。

#### 県内土地利用の現況



#### 製材品の供給内訳 (H29)



出典：森林管理課「石川県における木材需要と製材工場の動向」

### ② 「いしかわの木」が使われない理由

少し町から離れて山を見ると、スギの木がたくさん植えられています。これらの多くは、戦時中、森林資源を乱伐したことによって荒廃した山林において、終戦後、全国的に、国土の保全を図ることを目的に、成長が早く、建築材料として活用しやすいスギの木を中心に人工林の造成がなされたものです。

その後、高度経済成長期に入り、多くの住宅の建築がすすめられるなか、未成熟な国内の人工林資源では木材需要を満たすことができず、外国産材の木材が日本に大量に輸入されるようになりました。

そして現在、植林された木々は成長し、いよいよ「いしかわの木」も使い時になっているにも関わらず、山村地域の過疎・高齢化や、長期的な木材価格の低迷等により森林所有者の経営意欲が衰退し、「いしかわの木」の生産も滞り、「いしかわの木」があまり使われなくなっているのです。

### ③ 「いしかわの木」を積極的に使う必要性

現在、県内の人工林の多くが、維持管理が難しく手入れされずに放置されている状態です。植林されたスギ等を木材として利用する際には十分に育った伐り時に伐採し、そこにまた新たに木を植えることで、森林が更新されます。木を植え、育て、伐採するというサイクルを循環させないと、森林を健康な状態に持続させることができないのです。

#### 整備前



#### 整備後



手入れがされず放置されている状態


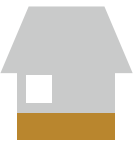






適正に管理されている状態

イラストは森林資源の循環利用のイメージ(林野庁HPより)



また、「いしかわの木」の地産地消による家づくりは、伐採された木材が住宅部材として使われることで、町中に第2の森として炭素が蓄えられることになります。また、建築材料としての木材は鉄骨や鉄筋などに比べ材料製造時や運搬においてもその距離が短く、CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）排出を抑える効果があります。

	木造住宅	鉄骨プレハブ住宅	鉄筋コンクリート住宅
炭素貯蔵量	 6炭素トン	 1.5炭素トン	 1.6炭素トン
材料製造時の炭素放出量	 5.1炭素トン	 14.7炭素トン	 21.8炭素トン

住宅一戸あたりの炭素貯蔵量と材料製造時の二酸化炭素排出量（林野庁HPより）

このような中、平成30年6月には「石川県県産材利用促進条例」が施行され、県産材の利用拡大にむけて、県の率先した県産材利用や県全体での県産材利用の機運醸成などを実施しております。

具体的には、令和元年度より、いしかわ森林環境税を活用した県産材の利用促進対策により森林資源の循環的な利用を通じた、森林・林業の活性化を図り、県民共有の財産である様々な公益的な機能を持つ森林を健全な姿で未来の世代に継承していくこととしております。

#### ■ 石川県県産材利用促進条例の特徴

##### 条例の背景・目的等（前文）

- ・県産材を「使う」だけでなく、「再造林」し、「森林資源の循環利用」につなげる仕組みづくりが重要性を強調

##### 県民等の協力（第7条）

- ・県産材の利用促進が地域経済の活性化に貢献するのみならず、森林が持つ多面的機能の維持にも寄与していることを明確にし、県民一人ひとりによる積極的な利用促進を呼びかけ

##### 推進計画の策定（第8条）

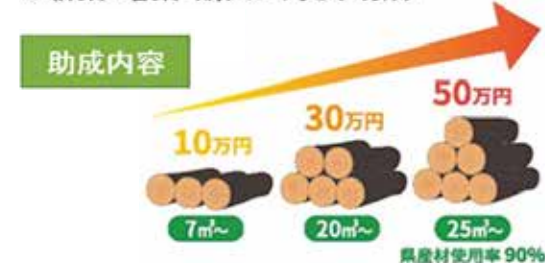
- ・人材育成のほか、木材の特性に応じた利用拡大の取り組み、新たな用途開発などを盛り込んだ推進計画を策定し、公表

##### 県産材利用推進月間（第9条）

- ・県全体で広く県産材の利用促進を図る機運が醸成されていくよう毎年10月を「県産材利用推進月間」として設定

#### ■ 住宅分野での利用促進

一定量の県産材を使った住宅等の新築・増築・購入に対し、助成



#### ■ 民間非住宅分野での利用促進

県産材利用の模範となる多数の者が利用する民間施設に対し、助成



## 「いしかわの木」の種類

石川県産「杉」と、石川県産「能登ヒバ（<sup>あて</sup>档）」のご利用を推進しています。

### 杉（スギ）

学名／*Cryptomeria japonica*（ヒノキ科スギ属）



石川県内のほとんど全域に造林されている。  
杉の生産量は、本県の木材生産のうちで最も多い。

用途	柱、棟木、大引、桁、鴨居、長押、貫、下地材、建具
【重さ】	軽い
【硬さ】	柔らかい
【色】	淡紅～褐色（心）、白（辺） 心辺材境界は明確、年輪目立つ
【腐りにくさ】	普通
【変形】	ねじれにくい
【価格】	安い



### 能登ヒバ[档（あて）]

学名／*Thujopsis dolabrata* var. *hondae*（ヒノキ科アスナロ属）



档は、ヒノキアスナロの地方名である。  
石川県独特の造林樹種で、「県木」に指定されている。主な産地は輪島市、珠洲市、能登町、穴水町とその周辺市町。

用途	柱、土台、床板、造作材、建具、漆器
【重さ】	重い
【硬さ】	硬い
【色】	黄～白 心辺材境界は不明確、年輪目立たない
【腐りにくさ】	腐りにくい
【変形】	ねじれやすい
【価格】	高い







# 木の温もりの中で 住まうほどに深まる居心地

施工事例  
1  
県産材使用量  
約12㎡

木の素材を上手に活かしながら、キッチンを中心に  
リビング、畳ダイニング、2階サブリビングが連なり、  
家じゅうどこからでも木の温もりと開放感を  
感じられる遊び心たっぷりの家。



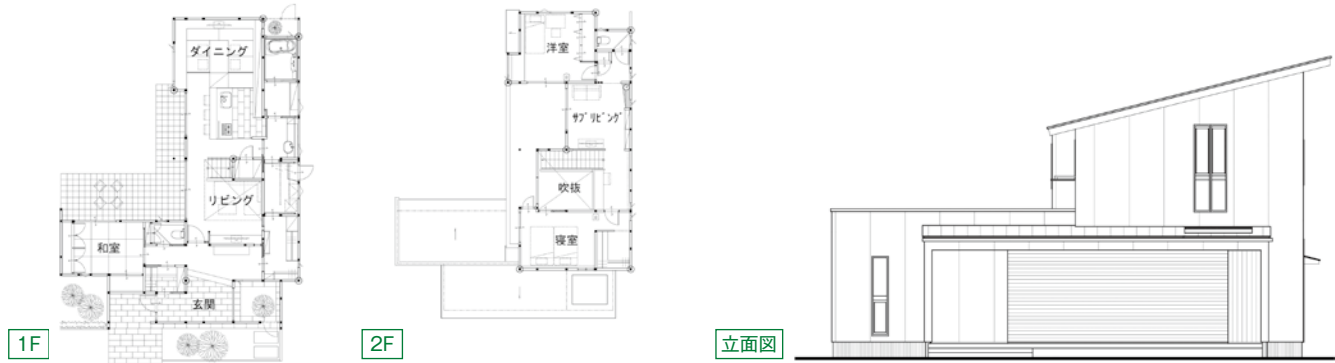
全棟で柱材に県産材を使い、必要に応じて梁材にも使用します。  
化粧材として楽しんだり、見えない部位に使用したりすることで、幅の広いインテリアのテイストをご提案します。

## 主要構造材(柱・梁・桁・土台)等の木材使用量

部位	樹種	幅 (m)	厚 (m)	長 (m)	単位材積 (㎡)	数量 (本)	使用材積 (㎡)	県産材
土台	ベイヒバ	0.120	0.120	4.0	0.0576	42	2.4192	
大引	ベイヒバ	0.105	0.105	4.0	0.0441	9	0.3969	
	ベイヒバ	0.105	0.105	3.0	0.0331	14	0.4631	
根太	ベイヒバ	0.090	0.090	4.0	0.0324	22	0.7128	
小計							3.99	
梁・桁	スギ	0.105	0.105	3.0	0.0331	18	0.5954	●
	スギ	0.120	0.210	4.0	0.1008	2	0.2016	●
	スギ	0.120	0.180	3.0	0.0648	1	0.0648	●
	スギ	0.120	0.150	2.0	0.0360	1	0.0360	●
	スギ	0.105	0.270	6.0	0.1701	1	0.1701	●
	スギ	0.105	0.270	4.0	0.1134	5	0.5670	●
	スギ	0.105	0.240	4.0	0.1008	3	0.3024	●
	スギ	0.105	0.240	3.0	0.0756	2	0.1512	●
	スギ	0.105	0.210	6.0	0.1323	2	0.2646	●
	スギ	0.105	0.210	5.0	0.1103	1	0.1103	●
	スギ	0.105	0.210	4.0	0.0882	2	0.1764	●
	スギ	0.105	0.210	3.0	0.0662	4	0.2646	●
	スギ	0.105	0.180	6.0	0.1134	1	0.1134	●
	スギ	0.105	0.180	5.0	0.0945	1	0.0945	●
	スギ	0.105	0.180	4.0	0.0756	11	0.8316	●
	スギ	0.105	0.180	2.0	0.0378	1	0.0378	●
	スギ	0.105	0.150	5.0	0.0788	4	0.3150	●
	スギ	0.105	0.150	4.0	0.0630	27	1.7010	●
	スギ	0.105	0.150	2.0	0.0315	1	0.0315	●
	スギ	0.105	0.123	4.0	0.0517	2	0.1033	●
	スギ	0.105	0.105	4.0	0.0441	4	0.1764	●
	スギ	0.105	0.105	3.0	0.0331	2	0.0662	●
	スギ	0.105	0.180	2.0	0.0378	1	0.0378	●
	スギ	0.105	0.150	2.0	0.0315	1	0.0315	●
	スギ	0.105	0.105	2.0	0.0221	1	0.0221	●
	アカマツ	0.120	0.450	4.0	0.2160	1	0.2160	●
	アカマツ	0.120	0.300	3.0	0.1080	1	0.1080	●
	アカマツ	0.105	0.390	3.0	0.1229	1	0.1229	●
	アカマツ	0.105	0.360	5.0	0.1890	1	0.1890	●
	アカマツ	0.105	0.330	4.0	0.1386	1	0.1386	●
	アカマツ	0.105	0.300	4.0	0.1260	1	0.1260	●
	アカマツ	0.105	0.270	5.0	0.1418	1	0.1418	●
	アカマツ	0.105	0.270	4.0	0.1134	1	0.1134	●
	アカマツ	0.105	0.240	4.0	0.1008	1	0.1008	●
	アカマツ	0.105	0.150	4.0	0.0630	2	0.1260	●
	アカマツ	0.105	0.105	3.0	0.0331	4	0.1323	●
	アカマツ	0.120	0.270	4.0	0.1296	1	0.1296	●
	アカマツ	0.105	0.450	5.0	0.2363	1	0.2363	●
	アカマツ	0.105	0.330	5.0	0.1733	3	0.5198	●
	アカマツ	0.105	0.330	4.0	0.1386	5	0.6930	●
	ベイマツ	0.150	0.210	4.0	0.1260	1	0.1260	●
	ベイマツ	0.105	0.480	4.0	0.2016	1	0.2016	●
	ビーラ	0.105	0.300	4.0	0.1260	2	0.2520	●
小計							10.14	6.47

部位	樹種	幅 (m)	厚 (m)	長 (m)	単位材積 (㎡)	数量 (本)	使用材積 (㎡)	県産材
母屋・棟木	ベイマツ	0.120	0.210	4.0	0.1008	1	0.1008	
	ベイマツ	0.120	0.180	5.0	0.1080	1	0.1080	
	ベイマツ	0.120	0.150	4.0	0.0720	2	0.1440	
	ベイマツ	0.120	0.150	3.0	0.0540	1	0.0540	
	ベイマツ	0.105	0.150	5.0	0.0788	3	0.2363	
	ベイマツ	0.105	0.150	4.0	0.0630	7	0.4410	
	ベイマツ	0.105	0.105	5.0	0.0551	3	0.1654	
	ベイマツ	0.105	0.105	4.0	0.0441	21	0.9261	
小計							2.24	
通柱	カラマツ	0.120	0.150	6.0	0.1080	5	0.5400	
	カラマツ	0.120	0.120	6.0	0.0864	1	0.0864	
小計							0.63	
管柱	スギ	0.105	0.105	3.0	0.0331	43	1.4222	●
	スギ	0.120	0.120	4.0	0.0576	2	0.1152	●
	スギ	0.120	0.120	3.0	0.0432	17	0.7344	●
	スギ	0.105	0.105	4.0	0.0441	3	0.1323	●
	スギ	0.105	0.105	3.0	0.0331	34	1.1246	●
	タモ	0.120	0.120	3.0	0.0432	1	0.0432	●
小計							3.57	3.53
小屋束	スギ	0.105	0.105	0.75	0.0083	1	0.0083	●
	ベイマツ	0.105	0.105	4.0	0.0441	11	0.4851	●
小計							0.49	0.008
屋根垂木	ベイマツ	0.045	0.060	5.0	0.0135	50	0.6750	
	ベイマツ	0.045	0.060	4.0	0.0108	48	0.5184	
	ベイマツ	0.045	0.060	3.0	0.0081	92	0.7452	
	ベイマツ	0.045	0.055	5.0	0.0124	9	0.1114	
	ベイマツ	0.045	0.055	4.0	0.0099	20	0.1980	
	ベイマツ	0.045	0.055	3.0	0.0074	17	0.1262	
小計							2.37	
間柱	スギ	0.045	0.105	3.0	0.0142	55	0.7796	●
	スギ	0.045	0.096	3.0	0.0130	24	0.3110	●
	スギ	0.045	0.087	3.0	0.0117	4	0.0470	●
	スギ	0.045	0.053	3.0	0.0072	4	0.0286	●
	スギ	0.045	0.105	3.0	0.0142	33	0.4678	●
	スギ	0.045	0.096	3.0	0.0130	17	0.2203	●
	スギ	0.045	0.087	3.0	0.0117	5	0.0587	●
	スギ	0.045	0.053	3.0	0.0072	8	0.0572	●
	スギ	0.027	0.105	3.0	0.0085	42	0.3572	●
小計							2.33	2.33
合計							25.77	12.33

延床面積：169.44㎡(51.26坪)  
木材使用量：25.77㎡  
うち県産材使用量：12.33㎡



登り梁を現した勾配天井による  
伸びやかな2階サブリビング



適材適所に梁材を配置して造られた  
リビングの大きな吹抜け空間

## 営業担当者からのひと言

弊社は、2003年より里山を守る「玉家の森づくり」を  
始動し、2007年より柱の県産材利用を開始する  
など、環境保全と地産地消に  
取り組んできました。これらは、  
地元の森林を健康に維持する  
ことや、地域産業の活性化につな  
がります。こうした取り組みを  
お客様に共感して頂くことも、  
私たち創る側の役割です。

玉家建設 営業担当 中村 隼人





# 平屋で「町中自給自足健康快適で長寿生活」

県産材使用量  
約18㎡

県産材の中でもヒノキチオールが一番多い能登ヒバだけを使った「能登ヒバ100%の家」です。能登ヒバの家は湿気やシロアリに強く、住みながらにして除菌抗菌効果を発揮する健康住宅です。

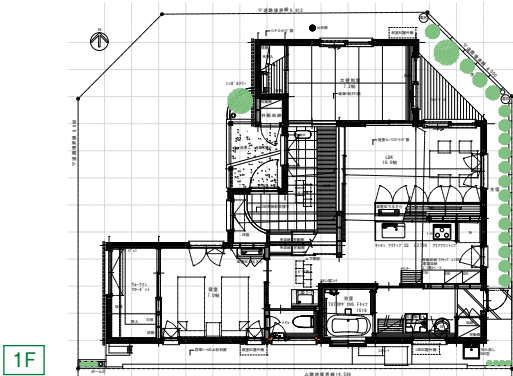


柱・土台も能登ヒバ、梁もすべて能登ヒバの大径木を使用。  
床材も壁材も天井材も外装材までもすべて能登ヒバを使った贅沢な家です。

主要構造材(柱・梁・桁・土台)等の木材使用量

部位	樹種	幅(m)	厚(m)	長(m)	単位材積(m³)	数量(本)	使用材積(m³)	県産材
土台	能登ヒバ	0.120	0.120	4.0	0.0576	20	1.1520	●
大引	能登ヒバ	0.105	0.105	4.0	0.0441	15	0.6615	●
柱	能登ヒバ	0.120	0.120	3.0	0.0432	48	2.0736	●
梁	能登ヒバ	0.120	0.120	3.6	0.0523	9	0.4704	●
梁	能登ヒバ	0.120	0.150	3.6	0.0653	5	0.3267	●
梁	能登ヒバ	0.120	0.180	3.6	0.0784	15	1.1761	●
丸太	能登ヒバ	0.300	0.300	4.8	0.4320	2	0.8640	●
丸太	能登ヒバ	0.250	0.250	3.6	0.2269	1	0.2269	●
丸太	能登ヒバ	0.200	0.200	1.8	0.0720	1	0.0720	●
筋交い	能登ヒバ	0.105	0.045	3.0	0.0143	18	0.2577	●
母屋	能登ヒバ	0.120	0.120	3.6	0.0523	32	1.6727	●
小計							8.90	
鼻隠し	能登ヒバ	0.210	0.024	3.6	0.0183	14	0.2561	●
野地板	能登ヒバ	0.210	0.012	1.8	0.0045	360	1.6330	●
上裏板	能登ヒバ	0.090	0.010	1.8	0.0016	290	0.4724	●
間柱	能登ヒバ	0.120	0.030	3.0	0.0109	93	1.0144	●
垂木	能登ヒバ	0.040	0.030	3.6	0.0044	300	1.3068	●
和室床荒板	能登ヒバ	0.300	0.012	1.8	0.0065	28	0.1814	●
外部貫	能登ヒバ	0.060	0.018	4.0	0.0043	200	0.8640	●
床捨張板	能登ヒバ	0.030	0.120	1.8	0.0065	270	1.7593	●
床根太	能登ヒバ	0.090	0.060	1.8	0.0098	80	0.7819	●
貫	能登ヒバ	0.060	0.015	3.6	0.0033	400	1.3068	●
羽目板	能登ヒバ	0.120	0.010	1.8	0.0022	60	0.1303	●
小計							9.71	
合計							18.61	18.61

延床面積：85.03㎡(25.72坪)  
木材使用量：18.61㎡  
うち県産材使用量：18.61㎡



無垢材の建具と能登ヒバの香りが心地よい玄関



消臭効果に優れた能登ヒバのトイレ



調湿効果と抗菌作用の高い能登ヒバのウォークインクローゼット

## 施工担当者からのひと言

ダニ・カビ・ハウスダスト・ウイルスなど室内の空気環境を重視される方にこそ、県産材の能登ヒバがおすすめです。能登ヒバは県産材でもっともヒノキチオールが多く、独特の清涼感あふれる香りで防虫・抗菌効果が高い樹種だからです。アレルギー体質や化学物質のニオイに敏感な方でも心地よく暮らせるでしょう。



澤野建設工房 代表取締役社長 澤野 利春





# 大きな窓から自然を取り込む家

県産材使用量  
約9㎡

のどかな景色を楽しめる大開口のサッシと木のぬくもりが感じられる板張りの天井  
アウトドア好きのご夫婦がこだわった自然を愛で、暮らしを愉しむ住まい



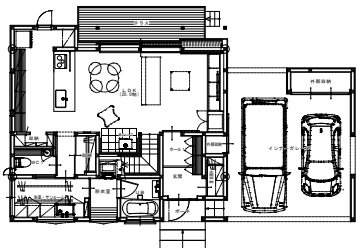
重要な柱や見えない下地材にも県産材の杉を使用しており、使用量が9.19㎡となりました。

## 主要構造材(柱・梁・桁・土台)等の木材使用量

部位	樹種	幅(m)	厚(m)	長(m)	単位材積(㎡)	数量(本)	使用材積(㎡)	県産材
土台	ヒノキ	0.120	0.120	4.0	0.0576	20	1.1520	
	ヒノキ	0.120	0.120	3.0	0.0432	10	0.4320	
	ヒノキ	0.105	0.105	4.0	0.0441	5	0.2205	
	ヒノキ	0.105	0.105	3.0	0.0331	8	0.2646	
	ヒノキ	0.105	0.105	3.0	0.0331	1	0.0331	
小計							2.10	
桁	スギ	0.090	0.090	1.0	0.0081	4	0.0324	
	ベイマツ	0.120	0.360	4.0	0.1728	4	0.6912	
	ベイマツ	0.120	0.300	4.0	0.1440	3	0.4320	
	ベイマツ	0.120	0.240	5.0	0.1440	1	0.1440	
	ベイマツ	0.120	0.240	3.0	0.0864	7	0.6048	
	ベイマツ	0.120	0.180	4.0	0.0864	18	1.5552	
	ベイマツ	0.120	0.180	3.0	0.0648	25	1.6200	
	ベイマツ	0.120	0.150	4.0	0.0720	15	1.0800	
	ベイマツ	0.120	0.150	3.0	0.0540	3	0.1620	
	ベイマツ	0.120	0.120	4.0	0.0576	4	0.2304	
	ベイマツ	0.120	0.120	3.0	0.0432	1	0.0432	
	ベイマツ	0.105	0.105	3.0	0.0331	11	0.3638	
	アカマツ	0.120	0.360	4.0	0.1728	1	0.1728	
	ベイマツ	0.120	0.450	6.0	0.3240	2	0.6480	
小計							7.78	
母屋	スギ	0.120	0.120	4.0	0.0576	2	0.1152	
	スギ	0.120	0.120	3.0	0.0432	2	0.0864	
	スギ	0.105	0.105	4.0	0.0441	21	0.9261	
	スギ	0.105	0.105	3.0	0.0331	14	0.4631	
小計							1.59	
火打ち梁	アカマツ	0.090	0.090	1.0	0.0081	12	0.0972	
小計							0.10	
通し柱	スギ	0.120	0.120	6.0	0.0864	4	0.3456	
	スギ	0.120	0.120	3.0	0.0432	72	3.1104	●
管柱	スギ	0.120	0.120	3.0	0.0432	2	0.0864	
	スギ	0.120	0.120	3.0	0.0432	3	0.1296	
柱	スギ	0.120	0.120	4.0	0.0576	2	0.1152	
	スギ	0.090	0.090	5.0	0.0405	1	0.0405	
階段柱	スギ	0.090	0.090	5.0	0.0405	1	0.0405	
ボーチ柱	ヒノキ	0.120	0.120	3.0	0.0432	3	0.1296	
小計							3.96	3.11
小屋束	スギ	0.120	0.120	3.0	0.0432	5	0.2160	
	スギ	0.105	0.105	3.0	0.0331	13	0.4300	
	スギ	0.090	0.090	1.0	0.0081	3	0.0243	
小計							0.67	
根太	スギ	0.045	0.105	4.0	0.0189	30	0.5670	
	スギ	0.045	0.105	3.0	0.0142	14	0.1985	
	スギ	0.045	0.060	4.0	0.0108	40	0.4320	
	スギ	0.045	0.060	3.0	0.0081	21	0.1701	
小計							1.37	

部位	樹種	幅(m)	厚(m)	長(m)	単位材積(㎡)	数量(本)	使用材積(㎡)	県産材
垂木	スギ	0.045	0.060	4.0	0.0108	94	1.0152	
	スギ	0.045	0.060	3.0	0.0081	29	0.2349	
	ヒノキ	0.045	0.060	4.0	0.0108	42	0.4536	
	ヒノキ	0.045	0.060	4.0	0.0108	2	0.0216	
	スギ	0.045	0.060	4.0	0.0108	6	0.0648	
	スギ	0.040	0.040	4.0	0.0064	24	0.1536	
	スギ	0.040	0.040	4.0	0.0064	30	0.1920	
	スギ	0.040	0.040	4.0	0.0064	72	0.4608	
	スギ	0.040	0.040	4.0	0.0064	30	0.1920	
小計							2.79	
間柱	スギ	0.045	0.120	3.0	0.0162	139	2.2518	●
	スギ	0.030	0.120	3.0	0.0108	60	0.6480	
	スギ	0.030	0.060	3.0	0.0054	12	0.0648	
	スギ	0.030	0.120	3.0	0.0108	25	0.2700	
	スギ	0.030	0.060	3.0	0.0054	24	0.1296	
	スギ	0.030	0.120	3.0	0.0108	12	0.1296	
小計							3.49	2.25
筋交	スギ	0.045	0.105	4.0	0.0189	5	0.0945	
	スギ	0.045	0.105	3.0	0.0142	14	0.1985	
仮筋交い	スギ	0.040	0.040	4.0	0.0064	42	0.2688	
小計							0.56	
窓台・窓マグサ	スギ	0.030	0.120	3.0	0.0108	10	0.1080	
	スギ	0.065	0.120	3.0	0.0234	1	0.0234	
小計							0.13	
下地ヌキ	スギ	0.015	0.060	4.0	0.0036	70	0.2520	●
	スギ	0.020	0.060	4.0	0.0048	60	0.2880	
	スギ	0.015	0.060	4.0	0.0036	240	0.8640	●
下地垂木	スギ	0.040	0.040	4.0	0.0064	48	0.3072	
	スギ	0.015	0.020	4.0	0.0012	75	0.0900	
胴縁	スギ	0.020	0.060	4.0	0.0048	180	0.8640	●
	スギ	0.020	0.090	4.0	0.0072	30	0.2160	●
	スギ	0.020	0.090	4.0	0.0072	25	0.1800	●
	スギ	0.020	0.060	4.0	0.0048	10	0.0480	●
	スギ	0.030	0.030	3.0	0.0027	27	0.0729	
1寸角	スギ	0.030	0.030	3.0	0.0027	27	0.0729	
	スギ	0.015	0.060	4.0	0.0036	50	0.1800	●
ヌキ	スギ	0.015	0.060	4.0	0.0036	250	0.9000	●
	スギ	0.015	0.060	4.0	0.0036	40	0.1440	●
	スギ	0.015	0.060	4.0	0.0036	50	0.1800	●
	スギ	0.015	0.060	4.0	0.0036	50	0.1800	●
小計							4.66	3.83
合計							29.20	9.19

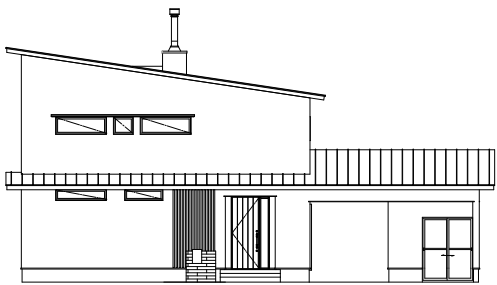
延床面積：114.02㎡(34.50坪)  
木材使用量：29.20㎡  
うち県産材使用量：9.19㎡



1F



2F



立面図



南側に広がる田園風景を楽しむための大開口の木製サッシ



冬は薪ストーブの炎を眺めながらくつろげるリビング

## 営業担当者からのひと言

弊社は製材所からスタートした会社ですので、以前から構造材には無垢材を使うことにこだわっていて、柱は地元の「かが杉」です。室内の天井や壁面、外壁のアクセントにも杉材をふんだんに使用しています。心地良い癒し空間となり、お住まいいただいたお客様にも大変ご満足頂いています。



株式会社梶谷建設 営業 倉野 美絵

## I 県産材の強度性能について

- 県産スギに比べ、能登ヒバの方が曲げ、縦圧縮、せん断、めり込みの各強度性能が高い。
- 県産スギ、能登ヒバは、国土交通省の告示で定める製材の基準強度（無等級材）を上回っており、建築用部材として問題なく使用できる。

## I 国土交通省の告示で定める基準強度 (平成12年5月31日建設省告示第1452号)

無等級材（JASに定められていない木材）の基準強度

樹種	基準強度(単位 N/mm <sup>2</sup> )				
	圧縮	引張り	曲げ	せん断	めり込み
					
	縦圧縮試験の様子	引張り試験の様子	曲げ試験の様子	せん断試験状況	めり込み試験状況
アカマツ、クロマツ及びベイマツ	22.2	17.7	28.2	2.4	9.0
カラマツ、ヒバ、ヒノキ及びベイヒ	20.7	16.2	26.7	2.1	7.8
ツガ及びベイツガ	19.2	14.7	25.2	2.1	6.0
モミ、エゾマツ、トドマツ、ベニマツ、スギ、ベイスギ及びスプルース	17.7	13.5	22.2	1.8	6.0
(参考) 石川県産スギの実証試験値	19.5	16.5	29.9	3.0	7.4
(参考) 能登ヒバの実証試験値	23.3	16.7	30.3	4.8	11.2

※ ここで紹介する石川県産スギの実証試験値は、令和2年10月現在の強度データを参考に記載したものです。今後もサンプル数の増加にともなって数値は変動しますので、ご了承ください。また、個別に部材の性能を保証・担保するものではありません。

## 曲げ

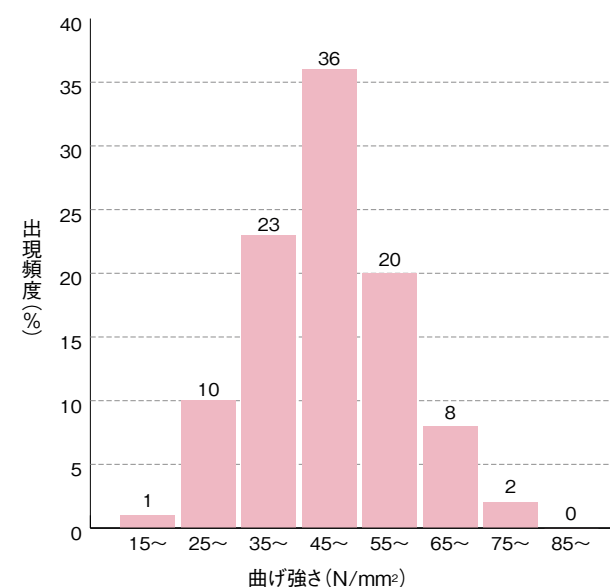
### 県産スギ

県産スギの心持ち平角材の曲げ強度試験は497体実施しました。

曲げ強さの下限値は29.9(N/mm<sup>2</sup>)となり、建設省告示の無等級材(すぎ)の基準強度22.2(N/mm<sup>2</sup>)を上回りました。

製材の機械等級区分の出現頻度は、E70が最も多く4割を占めました。

曲げ強さの出現頻度



曲げ試験結果

	含水率 (%)	密度 (kg/m <sup>3</sup> )	平均年輪幅 (mm)	縦振動ヤング係数 (kN/mm <sup>2</sup> )	曲げヤング係数 (kN/mm <sup>2</sup> )	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )
試験体数	497	497	497	497	497	497
平均値	16.5	409	5.0	7.43	7.8	49.3
最小値	8.9	295	1.4	3.09	3.6	21.7
最大値	55.7	597	10.2	14.41	13.0	82.9
標準偏差	6.1	46	1.4	1.57	1.6	11.5
変動係数 (%)	36.8	11.2	28.3	21.1	20.7	23.3
下限値	—	—	—	—	—	29.9

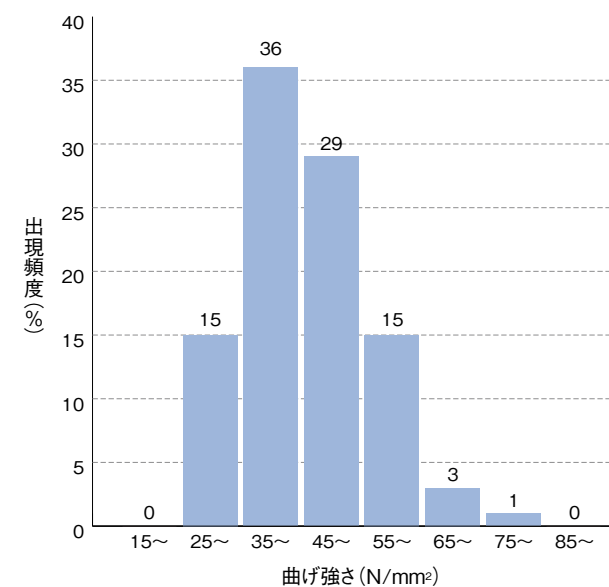
注) 曲げヤング係数および曲げ強さは、含水率、梁せいおよび荷重条件を補正した結果です。

### 能登ヒバ

能登ヒバの心持ち正角材の曲げ強度試験は335体実施しました。

曲げ強さの下限値は30.3(N/mm<sup>2</sup>)となり、建設省告示の無等級材(ひば)の基準強度26.7(N/mm<sup>2</sup>)を上回りました。

曲げ強さの出現頻度



曲げ試験結果

	含水率 (%)	密度 (kg/m <sup>3</sup> )	平均年輪幅 (mm)	縦振動ヤング係数 (kN/mm <sup>2</sup> )	曲げヤング係数 (kN/mm <sup>2</sup> )	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )
試験体数	335	335	304	335	335	335
平均値	22.1	526	2.8	9.11	9.2	45.5
最小値	11.9	429	1.0	6.37	5.0	24.4
最大値	82.9	761	5.1	11.60	12.3	83.3
標準偏差	12.2	53	0.9	0.93	1.1	10.4
変動係数 (%)	55.0	10.1	31.5	10.2	11.4	22.8
下限値	—	—	—	—	—	30.3

注) 曲げヤング係数および曲げ強さは、含水率、梁せいおよび荷重条件を補正した結果です。



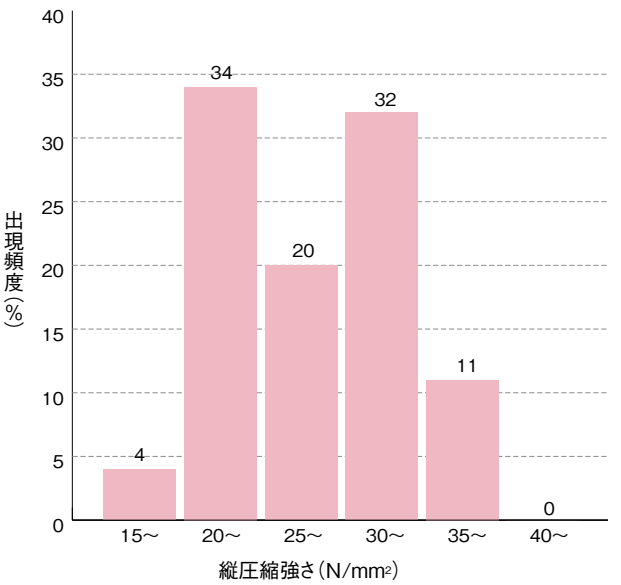
縦圧縮

県産スギ

県産スギの心持ち正角材の縦圧縮強度試験は 85 体実施しました。

縦圧縮強さの下限値は 19.5 (N/mm<sup>2</sup>) となり、建設省告示の無等級材(すぎ)の基準強度 17.7 (N/mm<sup>2</sup>)を上回りました。

縦圧縮強さの出現頻度



縦圧縮試験結果

	含水率 (%)	密度 (kg/m <sup>3</sup> )	平均年輪幅 (mm)	縦振動法のヤング係数 (kN/mm <sup>2</sup> )	縦圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )
試験体数	85	85	85	85	85
平均値	15.5	408	5.7	6.84	28.2
最小値	13.4	310	3.4	3.15	18.4
最大値	17.4	515	8.8	11.55	39.2
標準偏差	1.1	44	1.2	1.40	5.4
変動係数 (%)	7.4	10.9	21.6	20.4	19.2
下限値	—	—	—	—	19.5

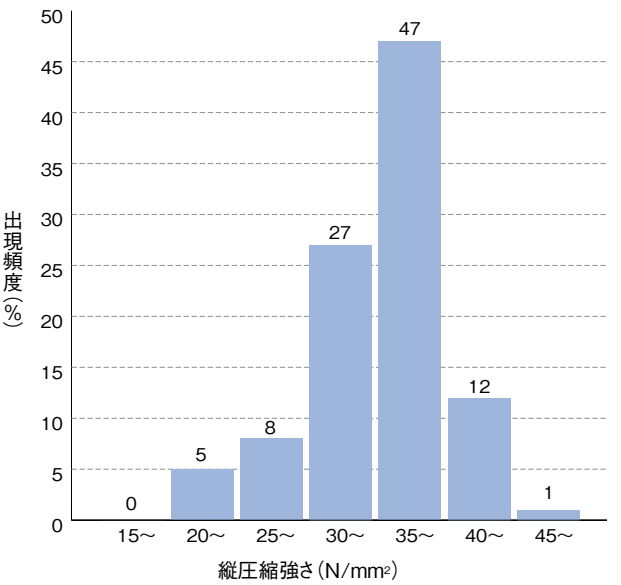
注) 縦圧縮強さは、含水率を補正した結果です。

能登ヒバ

能登ヒバの心持ち正角材の縦圧縮強度試験は 110 体実施しました。

縦圧縮強さの下限値は 23.3 (N/mm<sup>2</sup>) となり、建設省告示の無等級材(ひば)の基準強度 20.7 (N/mm<sup>2</sup>)を上回りました。

縦圧縮強さの出現頻度



縦圧縮試験結果

	含水率 (%)	密度 (kg/m <sup>3</sup> )	平均年輪幅 (mm)	縦振動法のヤング係数 (kN/mm <sup>2</sup> )	縦圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )
試験体数	110	110	110	110	110
平均値	15.9	520	3.2	9.29	33.9
最小値	13.0	447	1.8	7.78	20.9
最大値	19.9	594	5.1	11.45	44.9
標準偏差	2.5	35	0.7	0.81	5.7
変動係数 (%)	15.4	6.7	21.0	8.8	16.8
下限値	—	—	—	—	23.3

注) 縦圧縮強さは、含水率を補正した結果です。

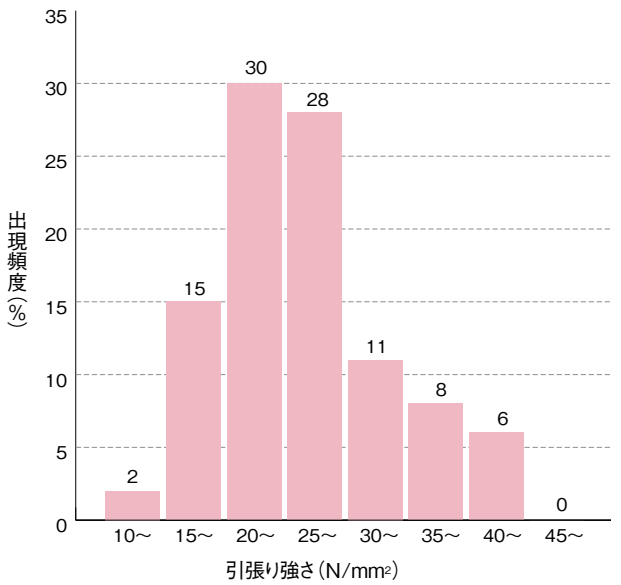
引張り

県産スギ

県産スギの心持ち平角材の引張り強度試験は 280 体実施しました。

引張り強さの下限値は 16.5 (N/mm<sup>2</sup>) となり、建設省告示の無等級材(すぎ)の基準強度 13.5 (N/mm<sup>2</sup>)を上回りました。

引張り強さの出現頻度



引張り試験結果

	含水率 (%)	密度 (kg/m <sup>3</sup> )	平均年輪幅 (mm)	縦振動法のヤング係数 (kN/mm <sup>2</sup> )	引張りヤング係数 (kN/mm <sup>2</sup> )	引張り強さ (N/mm <sup>2</sup> )
試験体数	280	280	280	280	279	280
平均値	16.1	405	5.2	7.39	6.9	26.4
最小値	8.6	307	1.9	4.11	3.7	12.3
最大値	67.0	614	11.5	11.35	11.1	44.2
標準偏差	7.5	49	1.7	1.46	1.5	6.9
変動係数 (%)	46.9	12.1	32.3	19.7	21.6	26.1
下限値	—	—	—	—	—	16.5

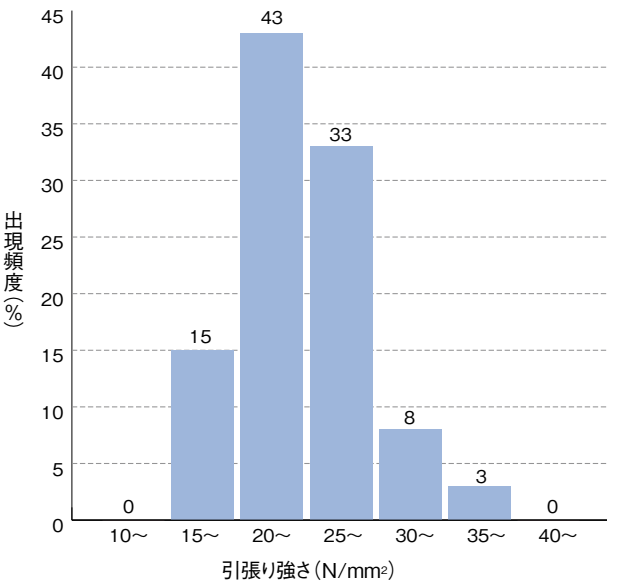
注) 引張りヤング係数は含水率を、引張り強さは含水率および梁せいを補正した結果です。

能登ヒバ

能登ヒバの心持ち正角材の引張り強度試験は 40 体実施しました。

引張り強さの下限値は 16.7 (N/mm<sup>2</sup>) となり、建設省告示の無等級材(ひば)の基準強度 16.2 (N/mm<sup>2</sup>)を上回りました。

引張り強さの出現頻度



引張り試験結果

	含水率 (%)	密度 (kg/m <sup>3</sup> )	縦振動法のヤング係数 (kN/mm <sup>2</sup> )	引張りヤング係数 (kN/mm <sup>2</sup> )	引張り強さ (N/mm <sup>2</sup> )
試験体数	40	40	40	39	40
平均値	18.6	536	9.18	9.3	24.5
最小値	18.0	458	8.09	7.8	15.2
最大値	19.7	595	11.05	11.1	37.4
標準偏差	0.4	27	0.64	0.8	4.6
変動係数 (%)	2.0	5.1	7.0	8.5	18.6
下限値	—	—	—	—	16.7

注) 引張りヤング係数は含水率を、引張り強さは含水率および梁せいを補正した結果です。



せん断

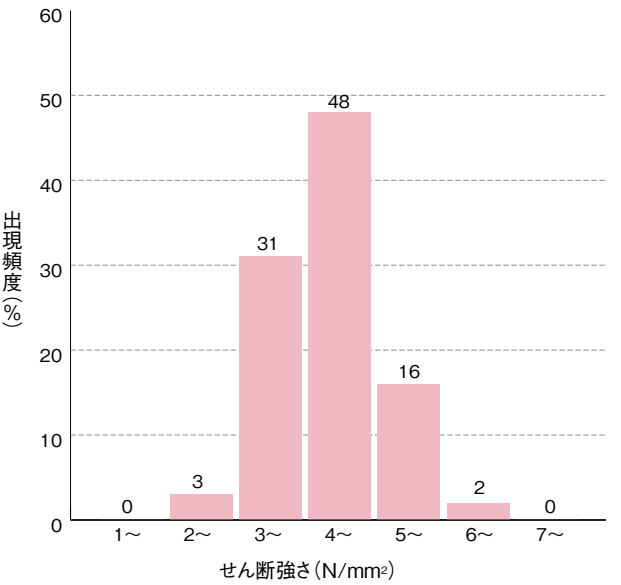
県産スギ

県産スギの心持ち正角材および平角材のせん断強度試験は 301 体実施しました。

せん断スパンを梁せいの2～2.5 倍とした中央集中荷重方式で行いました。

せん断強さの下限値は 3.0 (N/mm<sup>2</sup>) となり、建設省告示の無等級材(すぎ)の基準強度 1.8 (N/mm<sup>2</sup>)を上回りました。

せん断強さの出現頻度



せん断試験結果

	含水率 (%)	密度 (kg/m <sup>3</sup> )	平均 年輪幅 (mm)	縦振動 ヤング 係数 (kN/mm)	せん断 強さ (N/mm <sup>2</sup> )
試験体数	301	301	301	301	301
平均値	16.1	409	5.4	6.96	4.3
最小値	9.8	300	1.5	2.34	2.5
最大値	40.4	528	9.8	11.86	6.7
標準偏差	4.5	45	1.4	1.58	0.8
変動係数 (%)	27.9	10.9	25.8	22.8	17.8
下限値	—	—	—	—	3.0

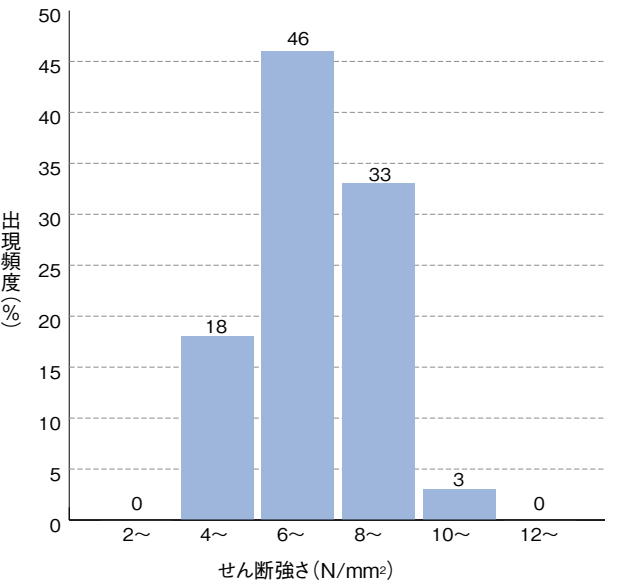
能登ヒバ

能登ヒバの心持ち正角材および平角材のせん断強度試験は 115 体実施しました。

せん断スパンを梁せいの2～2.5 倍とした中央集中荷重方式で行いました。

せん断強さの下限値は 4.8 (N/mm<sup>2</sup>) となり、建設省告示の無等級材(ひば)の基準強度 2.1 (N/mm<sup>2</sup>)を上回りました。

せん断強さの出現頻度



せん断試験結果

	含水率 (%)	密度 (kg/m <sup>3</sup> )	平均 年輪幅 (mm)	縦振動 ヤング 係数 (kN/mm)	せん断 強さ (N/mm <sup>2</sup> )
試験体数	115	115	115	115	115
平均値	16.6	519	3.0	9.25	7.4
最小値	13.4	422	1.6	7.44	4.3
最大値	20.9	603	5.0	11.07	10.9
標準偏差	2.0	35	0.7	0.77	1.5
変動係数 (%)	11.9	6.7	23.0	8.3	19.9
下限値	—	—	—	—	4.8

めり込み

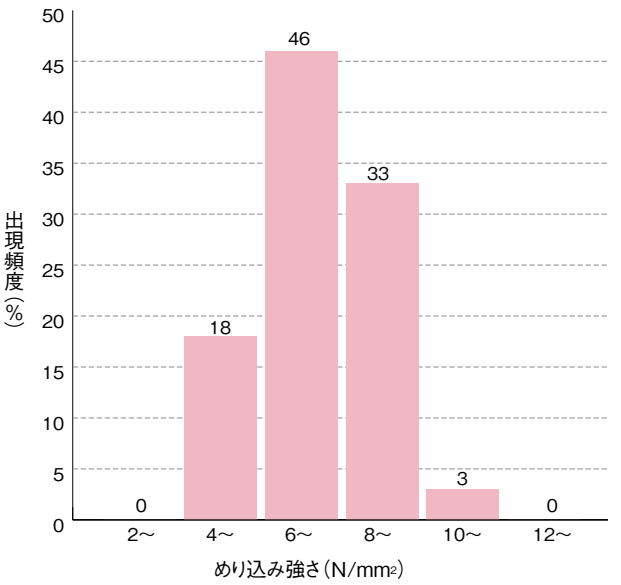
県産スギ

県産スギの心持ち正角材および平角材のめり込み強度試験は 200 体実施しました。

梁せいの6 倍の長さとした試験体の中間部に対して上下より長さ 90mm の加圧板で材の全幅を加圧する材中間部めり込み試験を行いました。

めり込み強さの平均値は 7.38 (N/mm<sup>2</sup>) となり、国交省告示の無等級材(すぎ)の基準強度 6.0 (N/mm<sup>2</sup>)を上回りました。

めり込み強さの出現頻度



めり込み試験結果

	含水率 (%)	密度 (kg/m <sup>3</sup> )	平均 年輪幅 (mm)	縦振動 ヤング 係数 (kN/mm)	めり込み 強さ (N/mm <sup>2</sup> )	めり込み 降伏強さ (N/mm <sup>2</sup> )	めり込み 剛性 (N/mm)
試験 体数	200	200	150	200	200	200	200
平均値	17.5	419	5.2	7.21	7.38	4.69	3.38
最小値	10.4	336	2.8	3.40	4.53	2.61	1.80
最大値	37.4	526	9.5	10.87	14.89	7.79	6.38
標準 偏差	4.8	41	1.4	1.56	1.41	0.84	0.71
変動 係数(%)	27.4	9.8	27.4	21.6	19.1	17.9	21.0

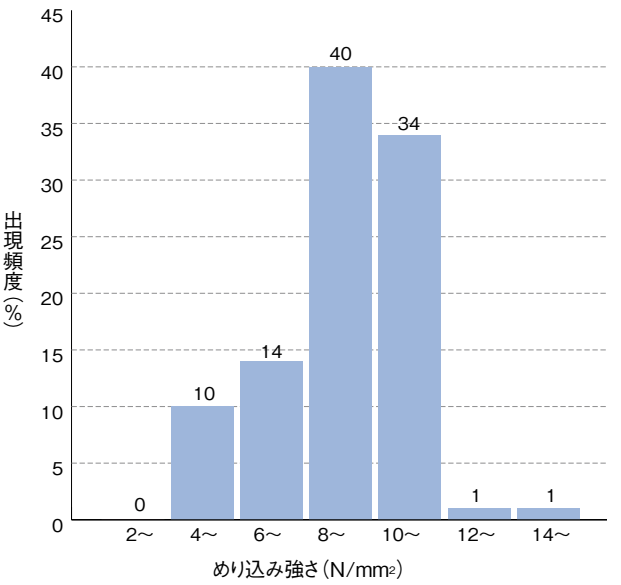
能登ヒバ

能登ヒバの心持ち正角材および平角材のめり込み強度試験は 88 体実施しました。

梁せいの6 倍の長さとした試験体の中間部に対して上下より長さ 90mm の加圧板で材の全幅を加圧する材中間部めり込み試験を行いました。

めり込み強さの平均値は 11.16(N/mm<sup>2</sup>) となり、国交省告示の無等級材(すぎ)の基準強度 7.8 (N/mm<sup>2</sup>)を上回りました。

めり込み強さの出現頻度



めり込み試験結果

	含水率 (%)	密度 (kg/m <sup>3</sup> )	平均 年輪幅 (mm)	縦振動 ヤング 係数 (kN/mm)	めり込み 強さ (N/mm <sup>2</sup> )	めり込み 降伏強さ (N/mm <sup>2</sup> )	めり込み 剛性 (N/mm)
試験 体数	88	88	62	88	88	88	88
平均値	17.0	512	3.1	9.54	11.16	7.33	4.81
最小値	13.9	407	1.7	7.58	6.52	3.58	2.04
最大値	20.3	578	4.5	11.25	16.01	10.76	9.07
標準 偏差	2.0	38	0.7	0.91	1.98	1.48	1.30
変動 係数(%)	11.6	7.5	23.4	9.6	17.7	20.2	27.0



I いしかわ森林環境基金事業

いしかわの森で作る住宅推進事業

事業の目的

県では、手入れ不足人工林の発生を未然に防止し、森林の公益的機能の維持増進を図ることを目的として、「いしかわ森林環境税」により県産材の利用を促進することといたしました。  
県内に建築する住宅などに一定量以上の県産材を使うと助成が受けられます。

事業内容

県産材使用量	7㎡～20㎡未満	20㎡以上	25㎡以上かつ 県産材使用率90%以上※
助成額	10万円	30万円	50万円

※：県産材使用率90%以上の基準(以下①、②いずれかの基準を満たせば該当する)  
①使用県産材の数量(㎡)／使用木材の数量(㎡)＝0.9以上 ②使用県産材の数量(㎡)／施工部分の延床面積(㎡)＝0.16以上

申請条件

1. 県による登録事業体である「県産材住宅ビルダー」が建築する住宅・店舗等の新築・増改築又は購入であること。
2. 延べ床面積 70㎡以上（新築の場合のみ）であること。
3. 引渡日が 4 月 1 日以降の建物であること。（過去に応募したものを再度応募することはできません。）
4. 県産材の確認のため、県産材取扱業者（合法木材供給事業者）が発行する「県産材産地及び合法木材証明書」を提出すること。
5. 県が実施する「民間施設県産材需要創出モデル推進事業」の補助金助成の採択を受けていないこと。

注意事項

1. 他の助成制度（市町制度・国の制度など）との併用は妨げません。ただし、他の助成制度が併用を制限している場合は併用できません（詳しくは、各助成制度の実施機関までお問い合わせください。）。
2. 「県産材住宅ビルダー（石川県 HP で公開）」とは、いしかわ森林環境税を活用した県産材利用促進の趣旨に賛同する旨を宣誓し、県による登録を受けた事業者のことをいいます。

お問い合わせ・お申し込み

お問い合わせ、お申し込みはお近くの農林総合事務所までお願いします。

農林総合事務所	南加賀	小松市園町ハ108-1	0761 - 23 - 1717
	石 川	白山市鶴来本町4丁目75番地	076 - 272 - 1171
	県 央	金沢市直江南2丁目1番地	076 - 239 - 1753
	中能登	七尾市小島町ニ33番地	0767 - 52 - 6600
石川県農林水産部森林管理課	奥能登	輪島市三井町洲衛10部11番1	0768 - 26 - 2329
		金沢市鞍月1丁目1番地(県庁)	076 - 225 - 1643

詳細は石川県森林管理課 HP をご覧ください  
(申請書や宣誓書のダウンロードもできます)  
(<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/shinrin/mokuzai/morisumai.html>)



I 市町補助事業のお問い合わせ先

10市町で補助事業を実施しています

補助金額や募集期間・要件は各市町により異なります。詳細は各市町の窓口までお問い合わせください。

市町名	事業名	担当課	電話番号	市町名	事業名	担当課	電話番号
珠洲市	珠洲木材活用住宅助成事業	産業振興課	0768-82-7767	津幡町	津幡町木の家づくり奨励金	農林振興課	076-288-6704
輪島市	輪島産材活用住宅助成事業費	農林水産課	0768-23-1141	金沢市	木の家づくり奨励金制度	森林再生課	076-220-2217
穴水町	穴水町定住促進奨励金	企画課	0768-52-3627	白山市	地域材利用促進事業補助金	林業水産課	076-272-1965
七尾市	七尾産材使用住宅助成金制度	農林水産課	0767-53-8510	能美市	加賀の木づかい奨励金	農林課	0761-58-2256
かほく市	かほく市木の家づくり奨励金	産業振興課	076-283-7105	小松市	小松地域産材利用促進事業	建築住宅課	0761-24-8104

I 県産材取扱業者

県産材取扱業者（合法木材供給事業者）は、  
公益社団法人 石川県木材産業振興協会のホームページでご覧になれます。  
[石川県木材産業振興協会](#) [検索](#)

I JAS 制度について

JAS制度は、「農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律（JAS法）」に基づいて、農林水産大臣が制定した日本農林規格（JAS規格）による検査に合格した製品にJASマークをつけることを認めるものです。この制度により、製材などの農林物産の品質改善、生産の合理化、取引の単純公平化などが図られることが期待されます。

家づくりには、信頼できる品質や性能を表示したJAS製品を使用することをお勧めいたします。

県内の製材等JAS認定工場

認定機関	認定番号	認定区分	工場名	所在地	電話番号
(一社)全国木材検査・研究協会	JLIRA-B・32・11	人工乾燥処理構造用製材	鳳至木材(株)	輪島市山岸町イ部-10	0768-22-1324
	JLIRA-B・32・12	人工乾燥処理造作用製材、人工乾燥処理下地用製材			
	JLIRA-B・32・03	構造用製材、下地用製材	(株)角永商店	白山市鶴来新町ソ25	076-272-1221
	JLIRA-B・32・13	造作用製材			
	JLIRA-B・32・05	構造用製材、造作用製材、下地用製材	かが森林組合那谷工場	小松市那谷町金1番地	0761-65-7300
	JLIRA-B・32・06	構造用製材、造作用製材、下地用製材	木田源製材(株)	能美市佐野町ニ101-1	0761-58-5300
	JLIRA-B・32・07	保存処理下地用製材	ニューハウス工業(株)石川工場	白山市水島町860-1	076-277-1555
	JLIRA-B・32・09	構造用製材、造作用製材、下地用製材	(株)シモアラ	加賀市柏野町イ51番地	0761-77-2133
	JLIRA-B・32・14	人工乾燥構造用製材	南加賀木材協同組合	小松市那谷町金1番地	0761-65-3900
(公財)日本合板検査会	JPIC-LT-109号	化粧ばり構造用集成柱	イソライト建材(株)和倉工場	七尾市奥原町下部570	0767-62-2336
	JPIC-PW-23号	コンクリート型枠用合板 低ホルムアルデヒドコンクリート型枠用合板 表面加工コンクリート型枠用合板、構造用合板 低ホルムアルデヒド構造用合板、防虫処理構造用合板	林ベニヤ産業(株)七尾工場	七尾市大田町110部43	0767-52-4376
	JPIC-LT-133号	低ホルムアルデヒド構造用集成材(大断面) 低ホルムアルデヒド構造用集成材(中断面) 低ホルムアルデヒド構造用集成材(小断面)	(株)中東本社工場	能美市岩内町ヤ1-9	0761-58-0100

資料 製材用：(一社)全国木材検査・研究協会 認定工場一覧  
合板・集成材用：(公財)日本合板検査会「JAS認定工場名簿」